令和７年度 東京都立大島海洋国際高等学校全日制課程学校経営計画

東京都立大島海洋国際高等学校長
浅野　恵治

１ スクール・ミッション

「海に学び、未来を拓く。」をコンセプトに、校訓「誠実・礼節・協力」を掲げ、「海洋に対する真摯な姿勢と態度を涵養し、世界に広がる海洋を活躍する生徒を育成する。」を教育目標とし、乗船実習、寄宿舎生活、教育活動を通じて、自然に対する「謙虚さ」「勇気・決断」を養い、自律した責任感ある人格を形成する教育を実践しながら、広大な海洋を舞台に国際的視野で活躍できる人材を育成します。

２ スクール・ポリシー

（１） グラデュエーション・ポリシー

水産・海洋に関する知識・技能の習得と教科指導による大学等上級学校への進学を実現するための学力を養成し、「未来の水産業や海洋関連技術者の基礎作り」を行う。

また、国際社会で通用する「思考力・判断力・表現力」等の育成、体験活動や集団生活を通した「学びに向かう力・人間性」等の醸成を通して、地域はもとより、世界の海洋に関わる人々と協働していくことができる人材を育成する。

（２） カリキュラム・ポリシー

カリキュラム・マネジメントの不断の実践により、専門教科と普通教科が連携した教科横断的な教育を時代に即した内容により実践する。

（３） アドミッション・ポリシー

本校は、教育理念「海に学び、未来を拓く」と校訓「誠実・礼節・協力」を掲げ、海洋に対する真摯な姿勢と態度を涵養し、世界に広がる海洋を舞台に活躍する生徒を育成する。

１　水産・海洋に関する課題に興味・関心をもち、海洋を学びの場として捉え、これからの時代に必要な資質や能力を育成すると共に、将来の地域・地球規模の課題に真剣に向き合って解決しようとする意思のある生徒

２　水産・海洋関連分野等で活躍する夢と志をはぐくみ、その実現に向け、大学等上級学校進学を目指した学習に落ち着いて取り組める意思のある生徒

３　中学校で身に付けた生きる力を基に、自主自律的な寄宿舎生活を通し、友との関わりを大切にし、自らの能力を鍛え、可能性を広げたいと考える心身共に健康な生徒

３ 中期的目標と方策

（１） 学習指導

① 学力分析と学習評価を的確に実施し、学力向上策を反映させた授業を行う。

② デジタル技術の活用をより図りながら生徒が主体的･協働的に課題を発見し解決する授業を行う。

③ 専門教科と普通教科の教科横断的な連携を意識した授業を行う。

（２） 進路指導

① 計画的な進路探究活動を実施し、一段高い進路希望を保持させる。

② 様々な上級学校入学選抜のルートを駆使して、一段高い進路希望を実現させる。

（３） 生活指導

① 協調や協働の中で積極的に学校や寄宿舎での生活に取り組む主体性を向上させるとともに、責任感や人権意識を培う。

② 学校や寄宿舎での規則の遵守について組織的・計画的に指導する。

（４） 保健指導

① 学校や寄宿舎の保健体制を充実し、生徒の心身に関わる課題解決を積極的に図る。

② 海洋実習や体育、部活動等を通じて生徒の体力向上を図る。

（５） 募集・広報活動

① ホームページをより充実させ、学校見学会・説明会等の活動を多岐にわたり行う。

② 海洋に学ぶ意欲を持ち一段高い進路希望の実現を図る入学希望者を増やす。

（６） 学校経営・組織体制

① 教員の学校経営参画意識を高め、秩序ある分掌・学年組織の運営を徹底する。

② 教科主任会と教科会をより活性化し、学習指導体制を強固にする。

４ 今年度の取組目標と方策

（１）教育活動の目標と方策

ア 学習指導

（目標）思考力・判断力・表現力を培う授業改善

（方策）① 考査等の結果分析を踏まえた教科会における課題設定と学力向上策の明確化

② 主体的で対話的な深い学びを実現するための授業

③ 教員相互の授業参観の年度内複数回にわたる実施

④ 課題研究発表会(各類系１回)下級生への発表会(各類系１回)

⑤ 海洋教育を通じて生徒自らが世界につながることを実感させ、主体的に国内外の課題解決を探求する。

イ 進路指導

（目標）キャリア教育の充実による一段高い進路意識の保持

（方策）① 生徒が主体的にキャリア形成を行うための進路行事の内容充実

② 各種資格・検定試験など、スモールステップで進路意識を高める取組の充実

③ 大学進学を支援する取組の推進　進学対象補習や長期休業中のオンライン補習

ウ 募集・広報活動

（目標）本校の特色ある教育活動への理解を深め入学を希望する中学生の増加

（方策）① ホームページや学校案内の内容充実と広報活動に携わる教員の目線合せ

② 大島丸乗船体験や寄宿舎体験など体験型の募集・広報活動の内容充実

エ 生活指導

（目標）統一した生活指導方針による規則遵守の組織的な指導と生徒の主体性の向上

（方策）① 学校・寄宿舎行事をはじめとする特別活動への生徒の主体的な取組の促進

② 部活動顧問による指導の強化、学習活動と両立できる活動計画立案・実施

③ 教育相談の手法を活用した学年と生活指導部・寄宿舎部の連携による系統的な生徒指導の取組

④ ケース会議およびいじめ対策委員会等を活用した学校、寄宿舎、SC 等の連携による系統的な個別指導の取組

⑤ コンディションレポートを活用した体調管理および生徒のＳＯＳに関する早期発見

オ 保健指導

（目標）生徒一人一人の健康状態や体力の現状を的確に把握する健康指導の充実

（方策）① 学校への帰属感を高める生徒の心身の健康状態に即した教育相談の推進

② 海洋に関するスポーツへの意識喚起および体力向上に向けた取組の推進

③ 新入生の SC 全員面接　１回

④ 食育教育についての取組の推進

カ 学校経営・組織体制

（目標）生徒の自己実現の支援に全力を傾注する学校経営の組織的な展開

（方策）① 会議運営の効率化をはじめとした計画的な業務の進行管理

② ライフ・ワーク・バランス実現を目指す、同僚性の高い職場づくり

③ 学習ＤＸツールならびに教育ダッシュボードを活用した教育ＤＸの推進

④ 服務事故根絶向けた校内研修および注意喚起

（２）重点目標と方策

ア 英語検定、海洋系資格検定の目標級合格に向けた生徒の学習支援の充実

イ 国公立大学受検者を増やすための特別授業や進路行事など工夫ある教育課程の実施

ウ 思考力・判断力・表現力等を高める教科指導の実施
エ 特別な支援を要する生徒に対する合理的な配慮など個に応じたきめ細かい指導

（３） 数値目標

ア 英語検定準２級相当以上１５名以上
イ １日当たりのクラス平均遅刻者数０．１％未満
ウ 部活動加入率８５％以上
エ 就職希望者内定率　１００％
オ ホームページ更新８００回以上
カ いじめ状況調査　年３回以上
キ 海洋系資格取得　　資格・検定合格者　１００名以上
ク 課題研究発表会(各類系１回)下級生への発表会(各類系１回)
ケ 教員相互の授業参観　教科内２回以上　他教科１回以上